

火星の芝居

石川啄木

青空文庫

『何か面白い事はないか？』

『俺は昨夜ゆうべ火星に行つて来た』

『そうかえ』

『真個ほんとに行つて来たよ』

『面白いものでもあつたか？』

『芝居を見たんだ』

『そうか。日本なら「冥途めいどの飛脚」だが、火星じゃ「天上の飛脚」でも演やるんだろう？』

『そんなケチなもんじやない。第一劇場からして違ふよ』

『一里四方もあるのか？』

『莫迦ばかな事を言え。先まず青空を十里四方位おおきの大ききに截きつて、それを压榨して石にするんだ。石よりも堅かたくて青あおくて透すきとお徹とおるよ』

『それが何なにだい？』

『それを積み重ねて、高い、高い、無際限むがいげんに高い壁を築たき上げたもんだ、然しかも二列ににだ、壁と壁との間まが唯五間位ごかんしかないが、無際限むがいげんに高いので、仰あやぐと空が一本の銀の糸いとの様ように見える』

『五間の舞台で芝居がやれるのか？』

『マア聞き給たまえ。その青い壁かが何処どこまで続ついているのか解と解とらない。
万ばん里りの長ちやうじやう城じやうを二重ふたえにして、青あおく塗ぬった様ようなもんだね』

『何処どこで芝居を演やるんだ？』

『芝居はまだだよ。その壁かがつまり花道はなみちなんだ』

『もう沢山だ。止せよ』

『その花道を、俳優が先ず看客を引率して行くのだ。火星じゃ君、俳優が国王よりも権力があつて、芝居が初まると国民が一人残らず見物しなげやならん憲法があるのだから、それはそれは非常な大入だよ、そんな大仕掛な芝居だから、準備にばかりも十カ月かかるそうだ』

『お産をすると同じだね』

『その俳優というのが又素的だ。火星の人間は、一体僕等より足が小さくて胸が高くて、そして頭が無暗に大きいんだが、その中でも最も足が小さくて最も胸が高くて、最も頭の大きい奴が第一流の俳優になる。だから君、火星のアービングや団十郎は、ニコ

ライの会堂のまるてんじょう円天蓋よりも大きい位なえぼし烏帽子をかぶ冠つてるよ』

『驚いた』

『驚くだらう?』

『君のほら法螺にさ』

『法螺じゃない、ほんと真実の事だ。少くとも夢の中の事実だ。それで君、ニコライの会堂の屋根をかぶ冠つた俳優やくしやが、何十億の看客を導いて花道から案内して行くんだ』

『花道から看客を案内するの?』

『そうだ。其そこ処が地球と違つてるね』

『其処ばかりじゃない』

『どうせ違つてるさ。それでね、僕も看客の一人にんになつてその花

道を行つたとし給え。そして、並んで歩いてる人から望遠鏡を借りて前の方を見たんだがね、二十里も前の方にニコライの屋根の尖端あたまが三つばかり見えたよ』

『アツハハハ』

『行つても、行つても、青い壁だ。行つても、行つても、青い壁だ。何処どこまで行つても青い壁だ。君、何処まで行つたつて矢張やっぱり青い壁だよ』

『舞台を見ないうちに夜よが明けるだろう？』

『それどころじゃない、花道ばかりで何年とか費かかるそうだ』

『好いいい加減にして幕をあけ給え』

『だって君、何処まで行つても矢張やはり青い壁なんだ』

『戯じょうだん言ごじやないぜ』

『戯言じやないさ。そのうちに目が覚めたから夢も覚めて了しまったんだ。ハツハハ』

『酷ひどい男だ、君は』

『だってそうじやないか。そう何年も続けて夢を見ていた日にや、火星の芝居が初まらぬうちに、俺の方が腹を減へらして目出度めでたく大団円になるじやないか、俺だって青い壁の涯はてまで見たかつたんだが、そのうちに目が覚めたから夢も覚めたんだ』

青空文庫情報

底本：「石川啄木集（下）」新潮文庫、新潮社

1950（昭和25）年7月15日発行

1970（昭和45）年6月15日25刷改版

1991（平成3）年3月5日48刷

底本の親本：「啄木全集第2巻 歌集2」筑摩書房

1967（昭和42）年8月30日

初出：「明星」

1908（明治41）年7月

入力：青空文庫

校正：鈴木厚司

2004年8月11日作成

2016年4月26日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

火星の芝居

石川啄木

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>